

## マイクロホンミキサー

品番 WR-430

## 取扱説明書

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添



上手に使って上手に節電

このたびはマイクロホンミキサーをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

## 目次

概要.....表紙	設置のしかた.....7～8
安全上のご注意.....2	調整のしかた.....9～10
各部の名称と働き(接続のしかた).....3～4	定格・付属品.....11
操作のしかた.....5	保証とアフターサービス.....裏表紙
上手な使いかた.....5～6	

## 概要

- 1台でマイクロホンを最大8本接続できます。  
また増設(最大3台)することにより最大24本のマイクロホンを接続できます。
- 大入力に強い  
コンプレッサ回路の採用により過大入力による歪を防ぎます。
- E I A 1 Uサイズ  
付属のラックアングルを取り付けてE I Aラックにマウントできます。
- リモコン端子装備  
ハイパワーアンプなどの電源ON/OFFを本機の電源スイッチに連動して行えます。
- 前面入力ジャック装備(1系統)  
マイクやライン入力を前面から接続できます。
- 外来ノイズに強い  
電子バランス回路の採用により外来ノイズに強くなっています。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出る水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

### 不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

### 電源コードを熱器具に近づけない



禁止

コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

### 電源コードは必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき火災や感電の原因となります。

- 抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

### 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



禁止

感電の原因となります。

### 電源コードを傷つけない



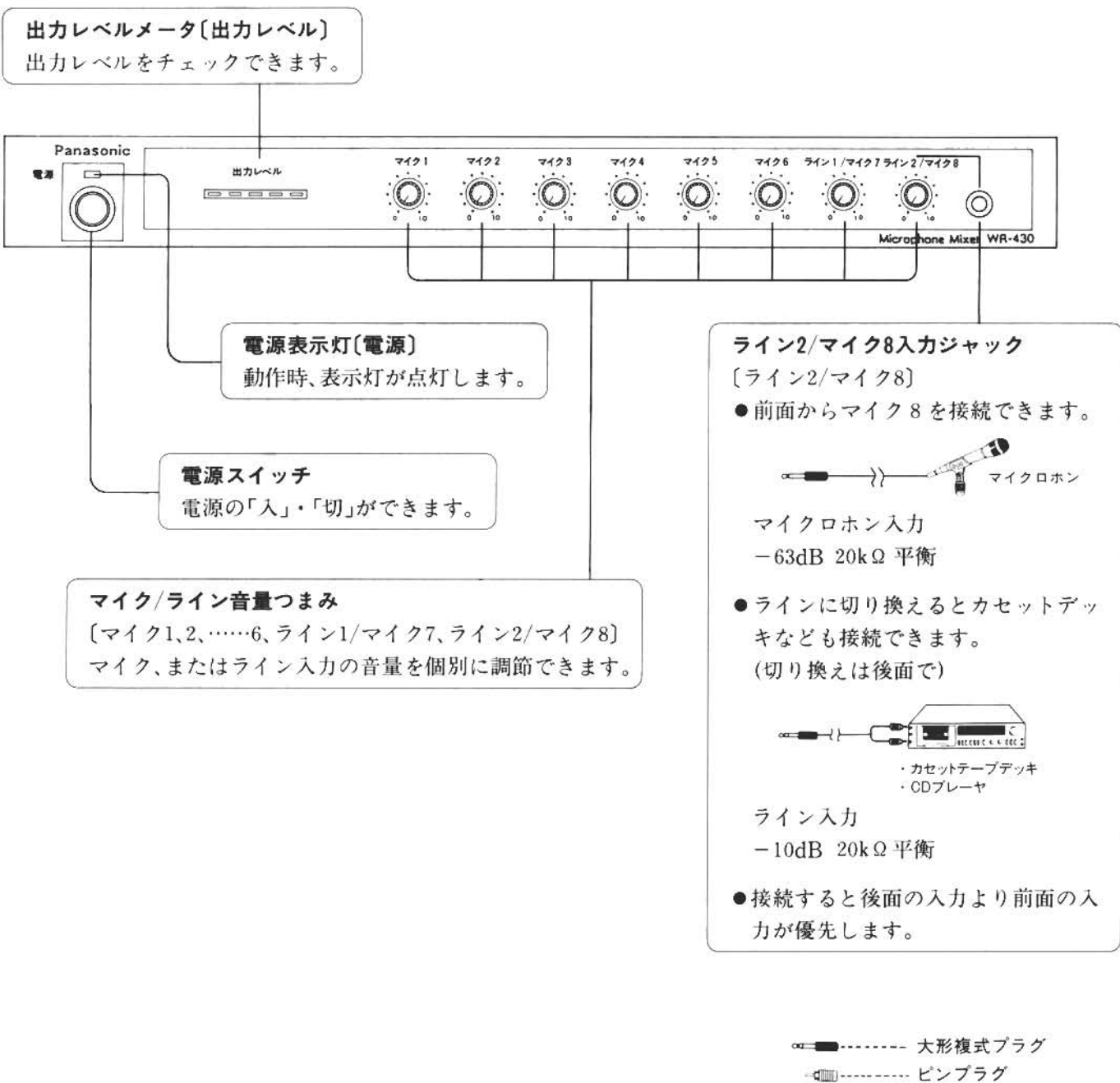
禁止

重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 抜くときは電源プラグを持って抜いてください。



# 各部の名称と働き (接続のしかた)

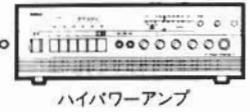
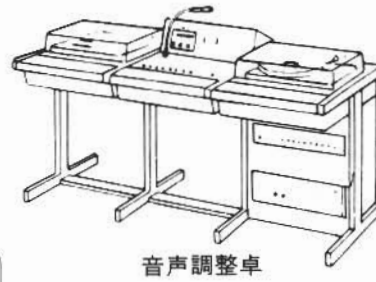
## ■前面



# 各部の名称と働き (接続のしかた)

## ■後面

-  ..... 大形複式プラグ
-  ..... ピンプラグ



**マイクロホン入力ジャック**  
 [マイク1、……6、ライン1/マイク7、ライン2/マイク8]

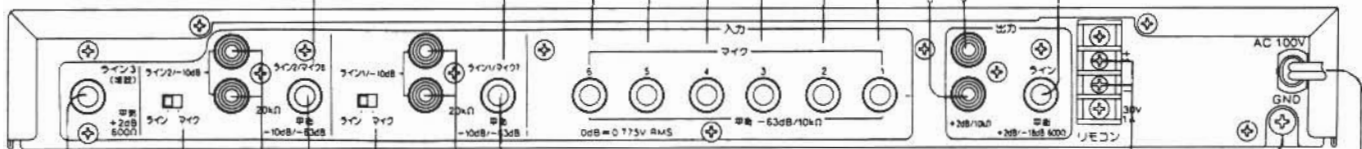
- マイクロホンを接続します。
  - マイク7はライン1に、マイク8はライン2に切り換えられます。
- マイク -63dB 10kΩ 平衡  
 ライン -10dB 20kΩ 平衡



**録音出力端子〔録音〕**  
 +2dB 10kΩ 不平衡



**ライン出力端子〔ライン〕**  
 +2dB 600Ω 平衡  
 [-18dB 600Ω 平衡：内部スイッチにより切り換え]  
 ハイパワーアンプや音声調整卓に接続します。



**ライン入力1・2**  
 [ライン1/-10dB、ライン2/-10dB]  
 -10dB 20kΩ 不平衡  
 (ピンジャック)

- カセットデッキなどをつなげます。



- ・カセットテープデッキ
  - ・CDプレーヤー
- 大形複式プラグとピンプラグは同時には接続できません。  
 (大形複式プラグ優先)

**アース端子**  
 [GND]

**電源コード**  
 [AC100V]  
 50/60Hz

**リモコン端子〔リモコン〕**

- ハイパワーアンプなどの電源ON/OFFを、本機と連動して行えます。  
 (6ページ参照)

**ライン/マイク切換スイッチ**  
 [ライン/マイク]

- マイク7とライン1、マイク8とライン2を切り換えできます。

**増設端子〔ライン3(増設)〕**  
 +2dB 600Ω 平衡  
 (大形複式ジャック)  
 本機をもう1台増設するための端子です。

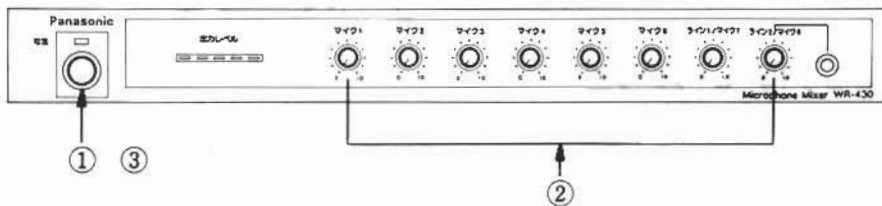
# 操作のしかた

## ■ご使用になる前に

- マイクロホン、CDプレーヤ、テープレコーダなどが確実に接続されているかを確認します。
- 接続してあるパワーアンプや調整卓などに音量調節がある場合は、音量調節を「6」か「7」目盛程度に設定しておきます。

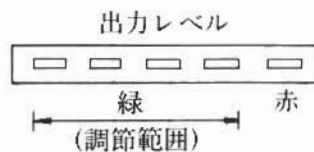
## ■操作のしかた

1. 電源スイッチを押します(LED点灯)。
2. マイク/ライン音量つまみで適当な音量に調節します。
3. ご使用後は必ず、電源スイッチを再び押して「切」にしてください(LED消灯)。



## ■出力レベルのチェック

- 最大音で出力レベルメータの緑LEDの一番右側が点灯するくらい、または、たまに赤が点灯するくらいに、各音量つまみを調節してください。



# 上手な使いかた

## ■記名シートの貼りかた

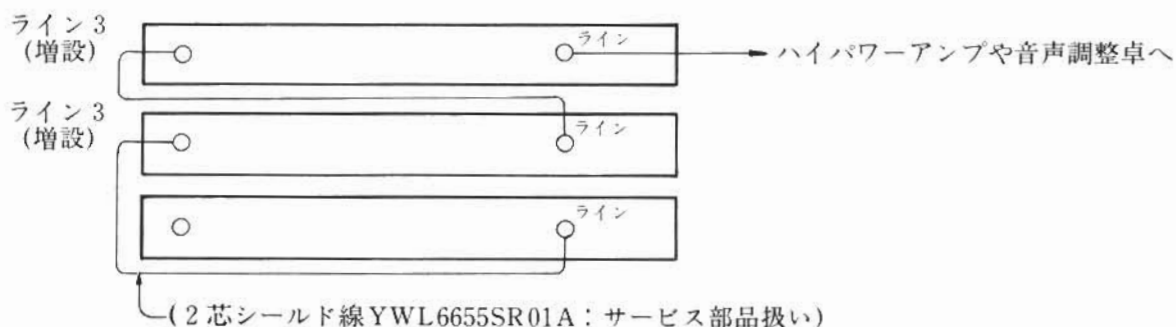
マイク/ライン音量つまみに接続機器名を表示したいときには、付属の記名シートにその名称を記入し、台紙から一枚ずつはがしてつまみの上部へ貼りつけてください。



# 上手な使いかた

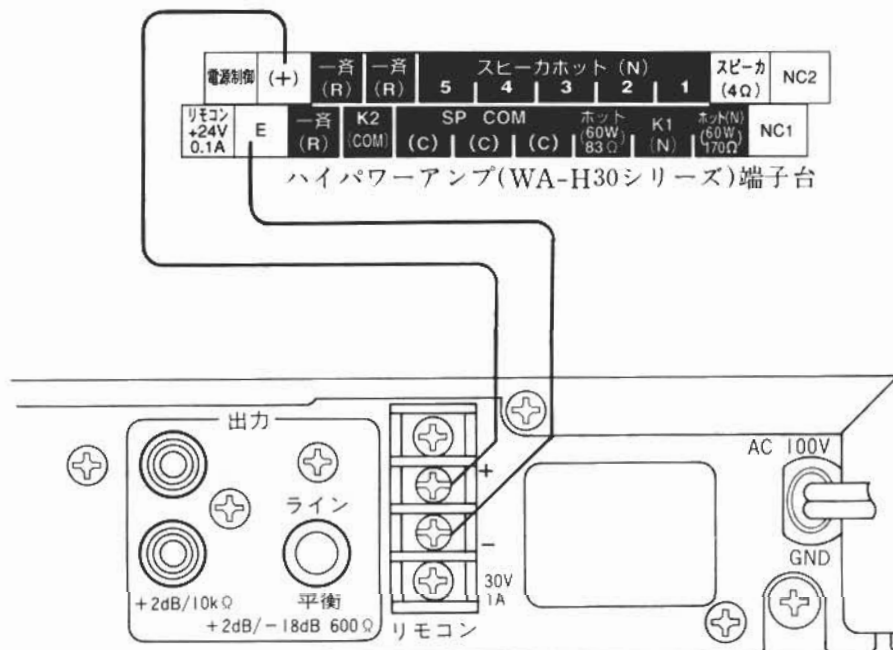
## ■ 増設のしかた

本機を増設(最大3台)すると、最大24本のマイクロホンを接続できます。



## ■ リモコン端子の使いかた

ハイパワーアンプの電源スタンバイ/入を本機の電源スイッチに連動して行えます。



本機後面

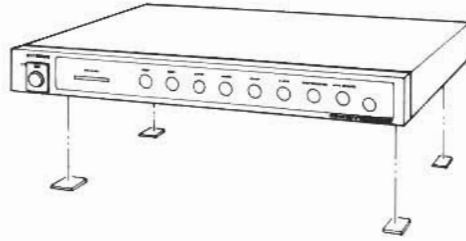
### ご注意

- 「+」と「-」の端子を間違えないように接続してください。  
(逆にするとアンプの電源が、ONになったままになります。)
- 制御容量は、DC30V、1A以下です。

# 設置のしかた

## ■据え置き用としてお使いのとき

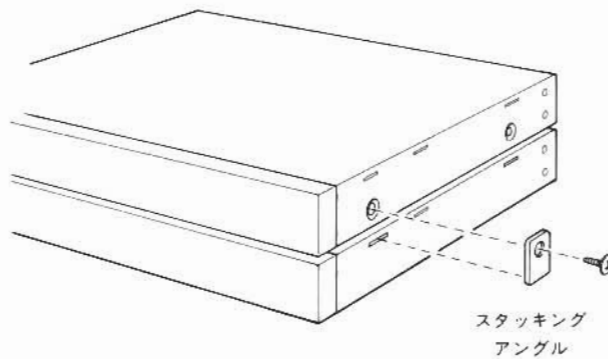
付属のゴム足 4 個を本機の底面に貼り付けます。



## ■スタッキングについて

本機をハイパワーアンプなどとスタッキングするときは、付属のスタッキングアングルで本機とハイパワーアンプなどを固定してください。

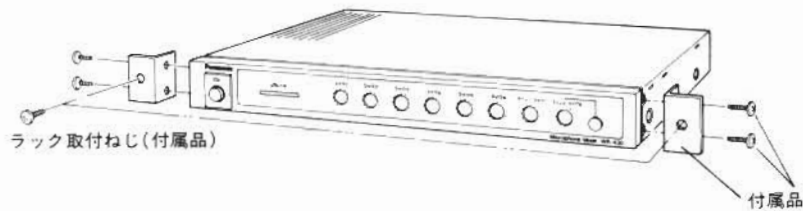
- ①本機両側面のねじ(M4×10) 2 本を外します。
- ②本機をハイパワーアンプなどとスタッキングし、スタッキングアングルで固定します。



# 設置のしかた

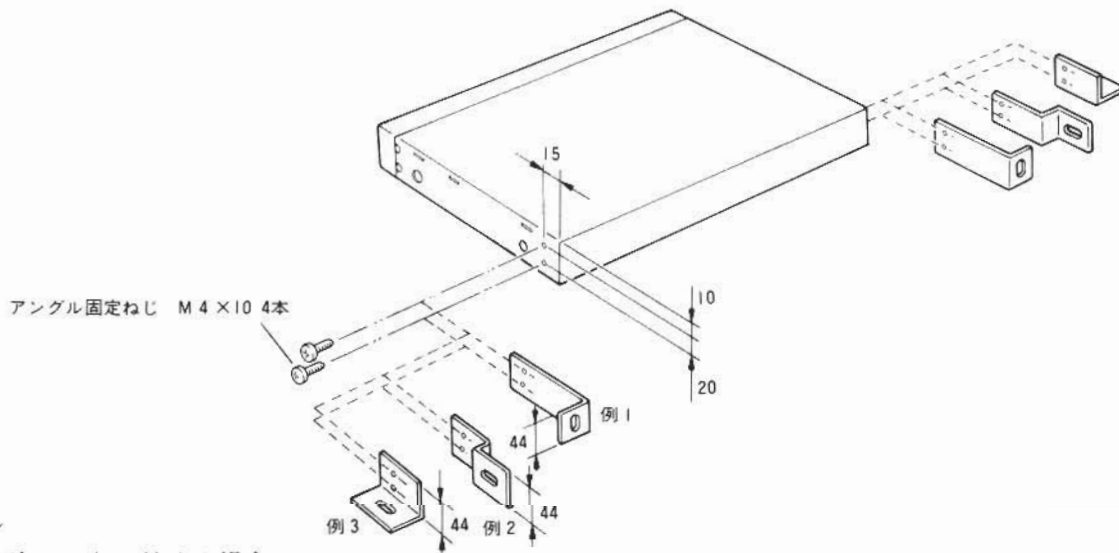
## ■ラックマウントのしかた

- 付属のラックアングルを付属のねじで取り付けます。
- ラックに取り付けます。(EIA規格相当のラックにマウントすることができます。)



### ご注意

- ラック内の温度が+50℃以上にならないように通風や換気をよくしてください。
- 移動用ラックの場合  
移動用ラックに収納して移動、運搬する場合、振動、衝撃を受けてラックアングルが変形し、本機が破損する恐れがあります。補強対策として、補強アングル(現地製作)を使い、後部の取付ねじでラックに固定してください。



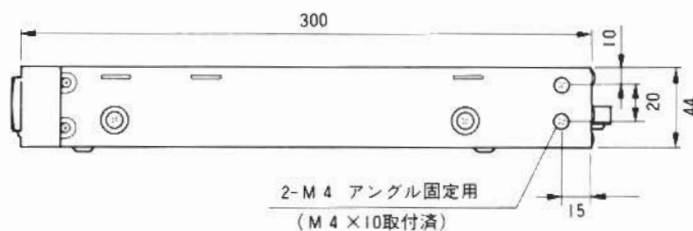
### 補強アングル

- 例1. ラック後面に取り付ける場合
- 例2. ラック側面 " "
- 例3. ラック底面 " "

### アングル製作の際の 最低条件

使用ねじ：M4×10  
アングル板厚：鉄板2mm以上

WR-430側面取付穴位置寸法



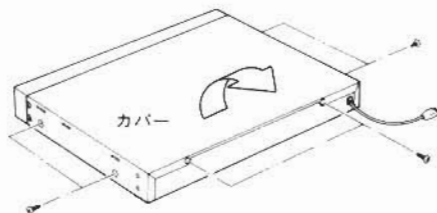


# 調整のしかた

本機の調整は、必ず販売店に依頼してください。また調整する場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■カバーの外しかた

- ①カバー取付ねじ6本を外します。
- ②カバーを斜め後方に引き上げると外れます。

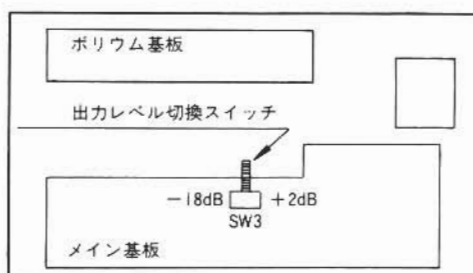


## ■出力レベルの変更方法

接続するハイパワーアンプや音声調整卓の入力レベルに合わせて、本機の出力レベル切換スイッチを切り換えてください。(出荷状態は+2dBになっています。)

入力レベルが+2dB付近のとき→+2dB側に切り換える。

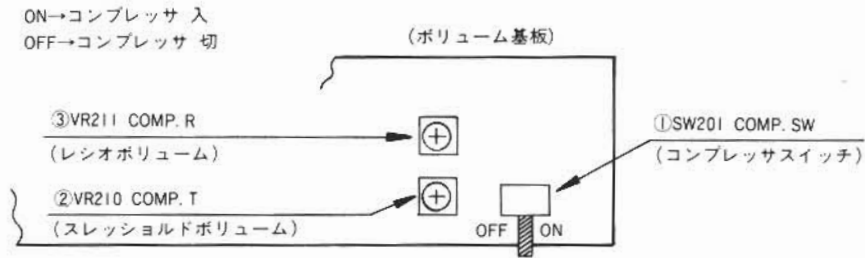
入力レベルが-18dB付近のとき→-18dB側に切り換える。



# 調整のしかた

## ■コンプレッサについて

- 過大入力の歪み防止やハウリングを軽減する場合にはコンプレッサスイッチ① (SW201 COMP.SW：出荷時OFF) をONにして使用してください。



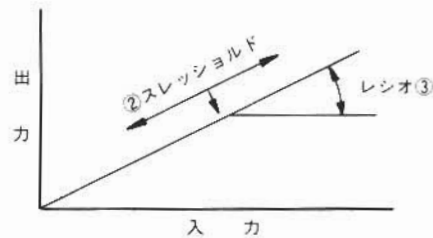
- コンプレッサ特性を変えられます

- ・ スレッシュヨルド (圧縮開始点)

大きなレベルの信号を入力し、スピーカで音を聞きながらスレッシュヨルドボリューム② (VR210) を回して圧縮開始点を設定します。右に回すほど入力レベルの低い所で圧縮が開始されます。

- ・ レシオ (圧縮比率)

レシオボリューム③ (VR211) を回して、圧縮比率を設定します。右に回すほど大きく圧縮されます。



# 定格・付属品

## ■定 格

電 源：AC100V 50/60Hz

消 費 電 力：7W

入 力 回 路

マイク1～6：-63dB 10k $\Omega$  電子バランス  
(大形複式ジャック)

マイク7.8：-63dB 20k $\Omega$  電子バランス  
(大形複式ジャック)

ライン1.2：-10dB 20k $\Omega$  電子バランス  
(大形複式ジャック)  
(または不平衡ピンジャック×2)

ライン3：+2dB 600 $\Omega$  電子バランス  
(大形複式ジャック)

(●マイク7とライン1、マイク8とライン2はスイッチ  
切換

●マイク8/ライン2は前面、後面に入力があり、前面  
が優先します。)

出 力 回 路

ラ イ ン：+2dB/-18dB 600 $\Omega$   
(内部スイッチ切換) 電子バランス  
(大形複式ジャック)

録 音：+2dB 10k $\Omega$  不平衡(ピンジャック×2)

注) 0dB=0.775VRMS

リモコン端子：制御容量 DC30V 1A

(本機の電源スイッチONで無電圧メイク)

周 囲 温 度：-10℃～+50℃

質 量：約3.4kg

寸 法：420(幅)×44(高さ)×300(奥行)mm

仕 上 げ：前面パネル：ABS樹脂 AVアイボリ塗装  
(マンセル7.9Y6.8

/0.8近似色)

カ バ ー：AVアイボリー色塗装鋼板  
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

## ■付属品

記名シール	1
スタッキングアングル	2
ラックアングル	2
ラックアングル取付ねじ(M4×10)	4
ラック取付ねじ(M5×12)	2

ゴム足

4

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、マイクロホンミキサーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●修理料金の仕組み

修理米金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WR-430
	販売店名	☎ ( ) -				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410